

自動車整備科・一級自動車工学科・ 国際自動車整備科			2025年		授業計画	
時 期	1年D巡	単元	実習	教科名	1 D_二輪車整備	
科 目	自動車整備作業	教科書等 持参品	自動車整備士三級（総合） 実習ノート		発行日	2025.4.1
総時限	24時限				教科担当	
必要時限	24時限					
指導教員の実務経験 該当 非該当						
自動車整備士として、二輪車整備の実務経験がある教員により二輪車全般の構造、作動について指導する。						
教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入） ①二輪車特有の整備を学ぶ ②二輪車の基本的な構造を学ぶ。						
授業の到達目標（何を理解し何が出来ようになるのか） ①二輪車のブレーキ整備を出来るようになる。 ②二輪車のタイヤ脱着及びチェーンの交換・調整作業を出来るようになる。 ③二輪車のフロントフォーク、ハンドル周りの脱着・調整を出来るようになる。 ④二輪車のエンジン分解・組立を出来るようになる。 ⑤二輪車のトランスミッションの分解組立を出来るようになる。 ⑥二輪車特有の構造を理解出来る。						
学習評価（期末試験での主な試験項目） 1）履修試験での学習評価 筆記試験 100点にて評価する。 整備科、SPM科 60点以上で合格、工学科 70点以上で合格。 2）出題試験項目 実技試験：①バイクスタンド固定作業 ②チェーン調整 ③ブレーキ分解組立 筆記試験：二輪車全般（自動車整備士2級、3級から）						
準備学習 事前に次の授業内容範囲を予習して、実習ノートを読んでおき、授業内容や質問事項等を学習する。 実習ノートをもとにテキストを用い、各部の構成装置の名称、役割、目的を事前に調べてまとめる。						

自動車整備科・一級自動車工学科・ 国際自動車整備科					2025年	授業計画
時 期	1年D巡	単元	学科	教科名	1D_二輪車整備	
授業概要（時限ごとの主な授業内容）					教科書、資料、備品類	
時限	主な授業内容				資料、備品類	数量
1	導入	二輪車整備の特徴、使用機器の確認			三級自動車整備士（総合）	各自
					実習ノート	各自
2	座学	動力伝達装置（クラッチの構造）			作業台小（穴無し）	10
					TONEパーツスタンド（赤）	10
3	座学	動力伝達装置（クラッチ操作機構）			ジクサー250	10
					二輪車ユニットエンジン・TM	10
4	座学	動力伝達装置（トランスミッションの構造）			フロントスタンド	10
					センタースタンド高さ調整用板	10
5	座学	動力伝達装置（トランスミッション操作機構他）			フロントフォーク用SST	10
					エンジン用SST	10
6	座学	アクスルサスペンション			TM用SST	10
7	座学	二輪車のフレーム他				
8	二輪車整備全般	バイクスタンド固定作業				
9	ブレーキ整備	ブレーキパッド交換作業				
10	ブレーキ整備	ブレーキパッド交換作業				
11	足回り作業	タイヤ脱着及びチェーン調整				
12	足回り作業	タイヤ脱着及びチェーン調整				
13	サスペンション整備	フロントフォーク、ハンドル脱着				
14	サスペンション整備	フロントフォーク、ハンドル脱着				
15	サスペンション整備	リヤショックアブソーバ脱着、スイングアーム脱着				
16	サスペンション整備	リヤショックアブソーバ脱着、スイングアーム脱着				
17	エンジン、TM整備	ユニットエンジン分解				
18	エンジン、TM整備	ユニットエンジン分解				
19	エンジン、TM整備	ユニットTM分解				
20	エンジン、TM整備	ユニットTM組立				
21	エンジン、TM整備	ユニットエンジン組立				
22	エンジン、TM整備	ユニットエンジン組立				
23	実技試験	実技試験				
24	実技試験	実技試験				